

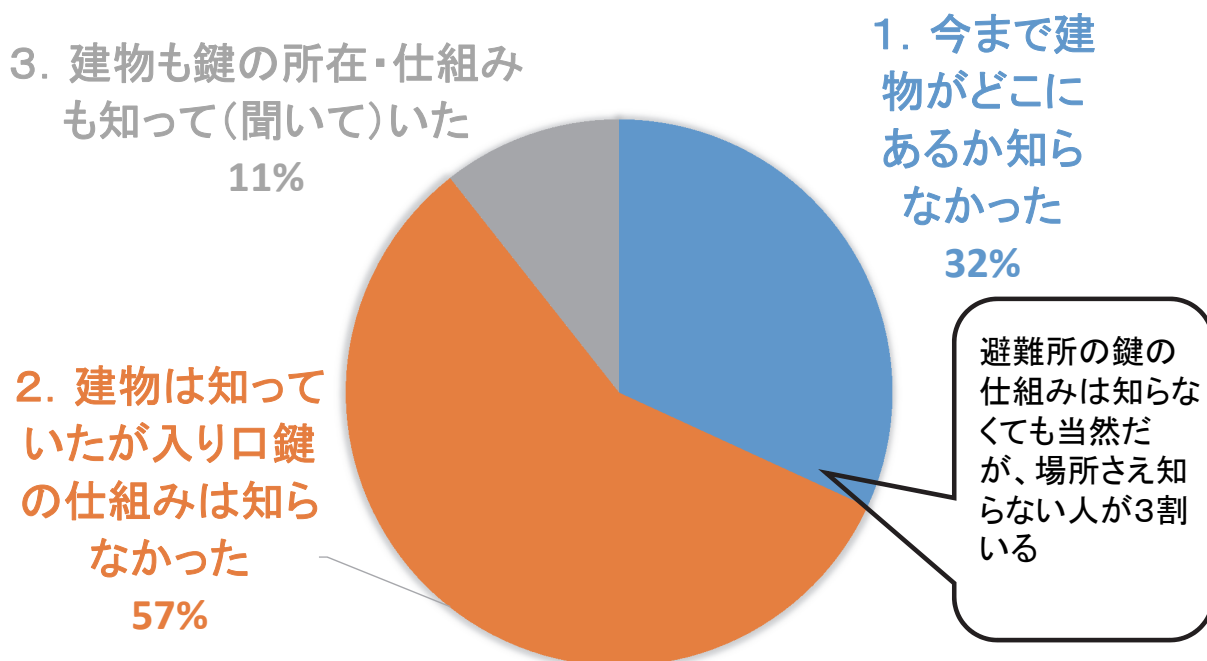
7. 避難所研修会参加者

地区別、住民・教職員・学生・実施委員別
避難所研修会参加人数一覧表

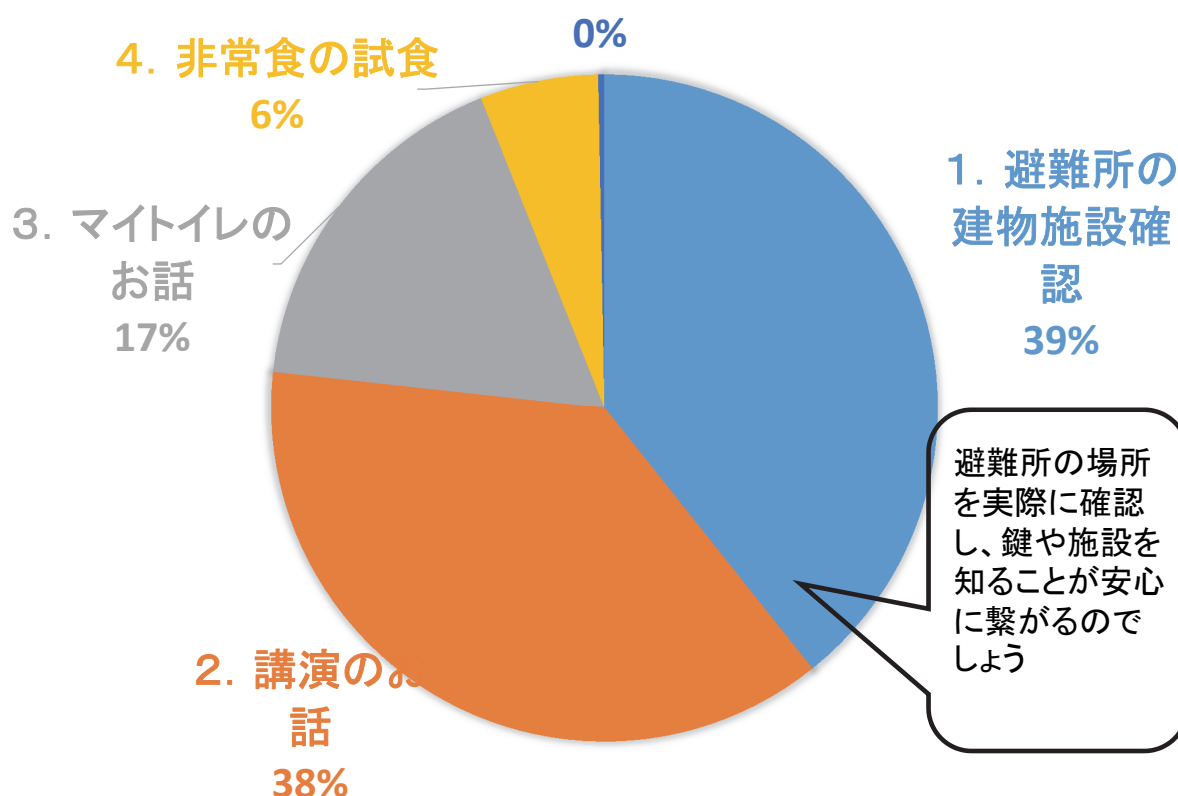
	常三島 地区 (人)	新蔵 地区 (人)	蔵本 地区 (人)	合計 (人)
住民	201	67	83	351
教職員	23	16	16	55
学生	9	10	7	26
実施委員	9	9	9	27
合計	242	102	115	459

8. アンケート集計結果

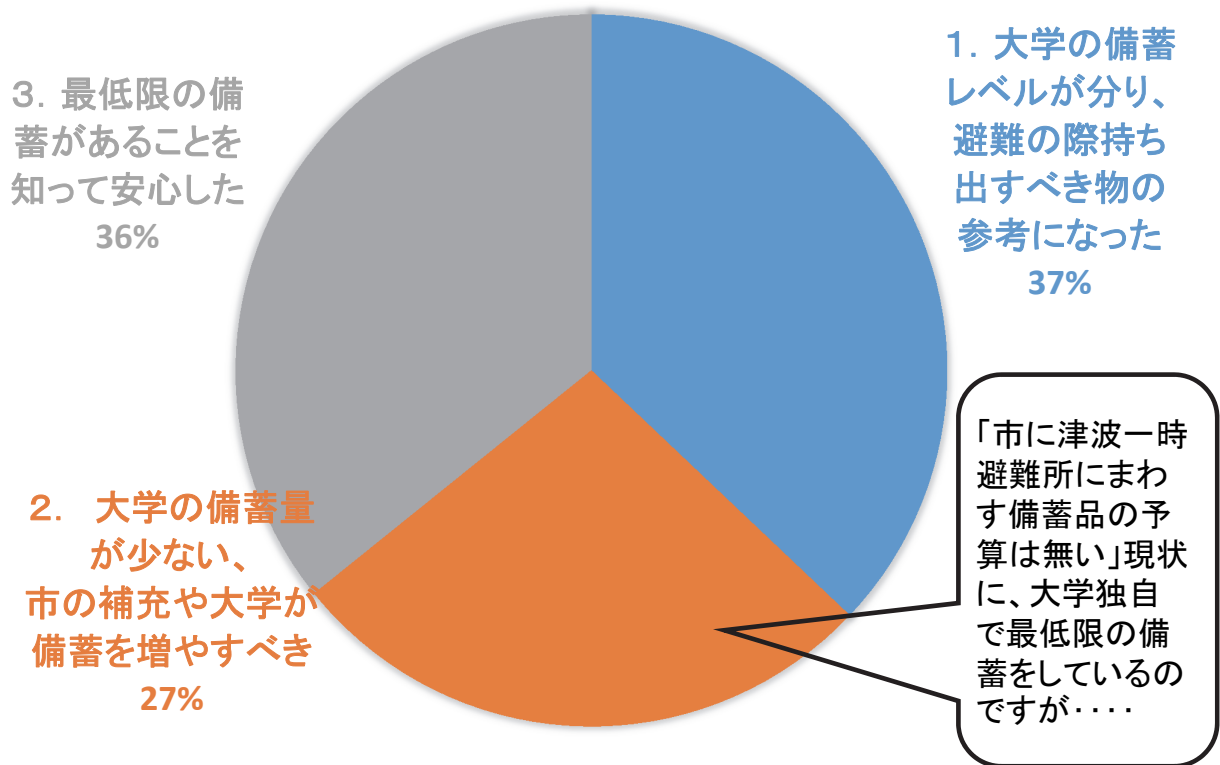
Q1: 大学避難所の建物について



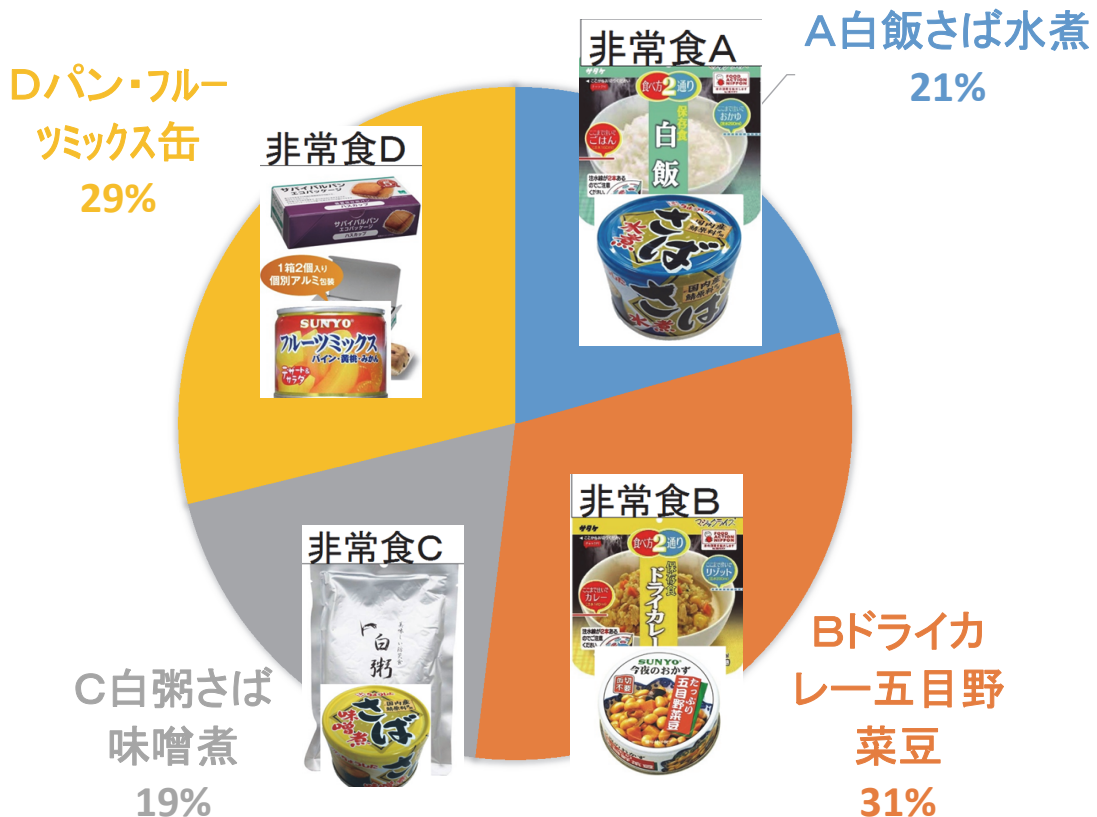
Q2: 研修で一番参考になったこと



Q3:水・非常食等の備蓄について



非常食選択比率



アンケート自由記述のご意見

「今回とてもいい体験ができてよかったです。近所に住んでいながら、建物の中へ入ることなかったのもとても参考になりました。」等

津波一時避難ビルである常三島地区、新蔵地区に好意のご意見を多数いただいた

蔵本地区は補完的避難所として位置づけられているため、市からの要請があった後に、鍵を開ける点について

大学の近隣に住んでいるので直ちに開設するようにしてほしいとの要望が多かった

避難所研修で感じられた成果と課題

• 成果

- 住民に大学避難所の場所と施設を知ってもらえた
- 大学の住民対策班が受け入れの一端を理解できた

• 課題

- 蔵本地区は市指定避難所(小中学校等)の補完的位置づけとされ、大学近隣の住民は「災害時直ちに開設」を要求し、災害規模に応じた行政との思惑の違いがある
- 本来体育館の機能以外に、避難所として活用する必要がある場合は、障害者・お年寄りの避難を想定した設計を今後検討する必要があると思われる。
(障害者・お年寄りにやさしい階段、手すり、トイレ対策等)